

<h1>4</h1>	正負の数：加法と減法	年 組 番	
	<h2>加法(2)</h2>	名前	/ 16問

図 1 次の計算をなさい。

①  $(+4) + (-4)$

●  $(+4) + (-4)$

$= 0$

(  $0$  )

②  $(-7) + (+7)$

(  $0$  )

**ポイント** 絶対値の等しい異符号の2数の和は、0。

③  $(+10) + (-6)$

●  $(+10) + (-6)$

$= +(10 - 6)$

$= +4$  (  $+4$  )

④  $(+8) + (-1)$

(  $+7$  )

**ポイント** 異符号の2つの数の和は、絶対値の大きいほうから小さいほうをひき、絶対値の大きいほうの符号をつける。

⑤  $(+6) + (-14)$

●  $(+6) + (-14)$

$= -(14 - 6)$

$= -8$  (  $-8$  )

⑥  $(+11) + (-19)$

(  $-8$  )

⑦  $(+6) + 0$

(  $+6$  )

⑧  $0 + (-3)$

(  $-3$  )

**注意!** ある数に0を加えても、和はもとの数のままである。

図 2 次の計算をなさい。

①  $(+2.5) + (-5)$

●  $(+2.5) + (-5)$

$= -(5 - 2.5)$

$= -2.5$  (  $-2.5$  )

②  $(-0.2) + (+1.5)$

(  $+1.3$  )

③  $(+0.5) + (-6.5)$

(  $-6$  )

④  $(-1) + (+0.9)$

(  $-0.1$  )

⑤  $(+\frac{1}{6}) + (-\frac{5}{6})$

(  $-\frac{2}{3}$  )

⑥  $(-\frac{2}{5}) + (+\frac{1}{3})$

(  $-\frac{1}{15}$  )

⑦  $(+\frac{3}{4}) + (-\frac{5}{8})$

(  $+\frac{1}{8}$  )

⑧  $(-\frac{2}{3}) + (+\frac{1}{2})$

(  $-\frac{1}{6}$  )